

高等学校 令和7年度（2 学年用）教科

家庭科

科目 家庭基礎

教 科： 家庭科

科 目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 9 組

使用教科書： （〔家庭基礎 自立・共生・創造〕東京書籍/「生活学NAVI」実教出版）

教科 家庭科

の目標：

知識及び技能	人間の将来にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技術を身につけるようにする。
思考力、判断力、表現力等	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
学びに向かう力、人間性等	さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会のかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技術を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	これからの人生について考えてみよう 【知識及び技能】 自分や人の一生についての考えをまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 社会の状況を考えながら、自分の生活や将来についての考えをまとめ、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活や将来について考えることに意欲をもって取り組む。	・指導事項 自分の未来予想図を描こう これからの人生をデザインする ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタルコンテンツ等 ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 自分や人の一生についての考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】 社会の状況を考えながら、自分の生活や将来についての考えをまとめ、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の生活や将来について考えることに意欲をもって取り組もうとしている。	○	○	○	2
	自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】 生活にかかわる労働の意義、労働環境、結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 労働の意義や役割、家族・家庭に関する課題・問題点について、新聞・書籍などの資料から情報を収集し自らの考えをまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 労働の意義や役割、結婚、家族・家庭の形、家庭・家族の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味・関心を持たせる。	・指導事項 自立と共生 ライフキャリア 共に生きる家族 家族に関する法律 ・教材 教科書・資料集、プリント・デジタルコンテンツ等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 生活にかかわる労働の意義、労働環境、結婚、家族・家庭の意義や機能について理解できる。 【思考・判断・表現】 労働の意義や役割、家族・家庭に関する課題・問題点について、新聞・書籍などの資料から情報を収集し自らの考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 労働の意義や役割、結婚、家族・家庭の形、家庭・家族の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味・関心を持ち取り組んでいる。	○	○	○	8
	衣生活をつくる 【知識及び技能】 衣生活についての科学的な知識を身につけることで衣服を適切に選択し管理することができる。小物の製作を通して基礎的な縫製技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 衣服についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において適切な判断ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 衣生活を取り巻く状況について関心を持ち衣生活の改善・向上に取り組めるようにする。	・指導事項 人と衣服のかかわり 衣服の素材の種類と特徴 衣服の選択から管理まで 持続可能な衣生活をつくる 小物（ペンケース）の製作 ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタルコンテンツ等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 衣生活についての科学的な知識を身につけることで衣服を適切に選択し管理することができる。小物の製作を通して基礎的な縫製技術を身につける。 【思考・判断・表現】 衣服についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において適切な判断ができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣生活を取り巻く状況について関心を持ち衣生活の改善・向上に取り組めるようにする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
夏 期 休 業	ホームプロジェクト	レポート作成 発表	家庭科で学んだことを中心に自分で関心のあること、またそこから見えてくる課題を探し、それに対する解決策を考える。	○	○	○	

2 学期	消費行動を考える/経済的に自立する 【知識及び技能】 消費行動についてのさまざまな情報を収集し、自分の消費行動を検証することができるようにする。消費行動における意思決定の過程とその重要性を理解でき、またその契約についての知識を身につけている。消費者の権利と責任についての知識について理解できる。家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。家庭経済・国民経済などのしくみについて理解し、経済的な側面から人生設計を組み立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 消費行動における意思決定の過程について具体的な事例を通して主体的に考え、判断できるようにする。消費者としての自覚を持ち、消費者の権利と責任を考慮することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が一消費者であることを自覚し、持続可能な社会の実現に向けて積極的に理解、行動しようとする。	・指導事項 消費行動と意思決定 消費生活の現状と課題 消費者の権利と責任 ライフスタイルと環境 ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタルコンテンツ等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 消費行動についてのさまざまな情報を収集し、自分の消費行動を検証することができるようにする。消費行動における意思決定の過程とその重要性を理解でき、またその契約についての知識を身につけている。消費者の権利と責任についての知識について理解できる。家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。家庭経済・国民経済などのしくみについて理解し、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 【思考・判断・表現】 消費行動における意思決定の過程について具体的な事例を通して主体的に考え、判断できるようにする。消費者としての自覚を持ち、消費者の権利と責任を考慮することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が一消費者であることを自覚し、持続可能な社会の実現に向けて積極的に理解、行動しようとする。	○	○	○	14
	食生活をつくる 【知識及び技能】 日本の食文化、食事の意義や役割、食生活を取り巻く環境などについて現代の食生活の課題が理解できる。栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての行動や判断が出来るようにする。栄養や食品、調理に対して科学的な思考をもって実際の食生活を改善することが出来るようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身の食生活に関心を持つとともに、食生活について意欲的に改善・向上に努める。また、調理実習において、積極的に参加し、班員と協力して効率的に作業することが出来るようにする。	・指導事項 日本の食文化の形成 私たちの食生活 栄養と食品のかかわり 食品の選び方と安全 食事の計画と調理(調理実習含む) これからの食生活を考える ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタルコンテンツ等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日本の食文化、食事の意義や役割、食生活を取り巻く環境などについて現代の食生活の課題が理解できる。栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【思考・判断・表現】 自分自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての行動や判断が出来るようにする。栄養や食品、調理に対して科学的な思考をもって実際の食生活を改善することが出来るようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分自身の食生活に関心を持つとともに、食生活について意欲的に改善・向上に努める。また、調理実習において、積極的に参加し、班員と協力して効率的に作業することが出来るようにする。	○	○	○	14
冬 休 期	定期考査			○	○		1
	住生活の設計 下書き	設計図 下書き作成 発表	住生活の課題を探し、それに対する解決策を考える。	○	○	○	
3 学 期	住生活をつくる 【知識及び技能】 住まいの役割・機能、住まいと健康・安全とのかかわりを理解し、実生活に役立てることが出来るようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ライフスタイル、ライフステージに応じた自分や家族にあった住まいを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 住まいの機能、住環境についての知識を身につけ、現在の住生活の課題についても認識させる。	・指導事項 人間と住まい 健康と住まい 安全な住まい 持続可能な住まいづくり ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタルコンテンツ等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 住まいの役割・機能、住まいと健康・安全とのかかわりを理解し、実生活に役立てることが出来る。 【思考・判断・表現】 ライフスタイル、ライフステージに応じた自分や家族にあった住まいを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 住まいの機能、住環境についての知識を身につけ、現在の住生活の課題についても認識する。	○	○	○	7
	子どもとかわる 【知識及び技能】 子どもの心身の発達や子どものせいにかつについての知識を身につける。命の尊さ、子育ての意義について理解させる。また子どもをとりまく環境の重要性、子どもの福祉についても理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの心身の発達、現在の子どもをとりまく環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの発達の様子や生活に興味・関心を持ち、子どもをとりまく状況に課題を見つけ、解決に向けて考えさせる。	・指導事項 子どもとは 子どもの発達 子どもの生活 子どもをはぐくむ 子どものための社会福祉 ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタルコンテンツ等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 子どもの心身の発達や子どものせいにかつについての知識を身につける。命の尊さ、子育ての意義について理解させる。また子どもをとりまく環境の重要性、子どもの福祉についても理解する。 【思考力・判断力・表現】 子どもの心身の発達、現在の子どもをとりまく環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの発達の様子や生活に興味・関心を持ち、子どもをとりまく状況に課題を見つけ、解決に向けて考える。	○	○	○	7
	高齢者とかわる/社会とかわる 【知識及び技能】 高齢社会、高齢者の特徴について理解する。また、高齢者をはじめ配慮が必要な人に対する接し方を学ぶ。社会福祉の意味、福祉の状況、社会保障制度について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢社会の課題やその解決へ向けて、その課題の発見、そのか行けるの方法を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の一員としての自覚を持ち、お互いに支えあえる社会を実現できるよう意欲的に考えさせる。	・指導事項 高齢社会に生きる 高齢者を知る 高齢者の自立を支える 高齢者を支えるしくみ 支えあって生きる 共生社会を生きる ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタルコンテンツ等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 高齢社会、高齢者の特徴について理解する。また、高齢者をはじめ配慮が必要な人に対する接し方を学ぶ。社会福祉の意味、福祉の状況、社会保障制度について理解する。 【思考・判断・表現】 高齢社会の課題やその解決へ向けて、その課題の発見、そのか行けるの方法を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員としての自覚を持ち、お互いに支えあえる社会を実現できるよう意欲的に考える。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
							合計
							70